

## 「災害時多言語情報センター」運営訓練

当協会は、大規模災害時に県国際課と連携して「災害時多言語情報センター」を設置・運営する予定です。災害時に外国人住民を支援するためには、日ごろの準備と訓練が重要であるため、通訳・翻訳ボランティア登録者を対象とした訓練を3月28日に実施しました。

訓練では、単に文章を多言語に翻訳するということではなく、災害時に使われる特殊な言葉を外国人にも分かりやすく伝えるために、やさしい日本語に直してから、更に多言語に直していきました。参加者は、文章の中から情報を取捨選択したり、図を加えたりしながら、どうしたら必要な情報を外国人にも分かりやすく伝えられるかを議論しました。

終了時に参加者から「今日の自分の翻訳には満足していない」という感想がありましたが、日本語が母語ではない人が理解しやすい日本語は、普段から意識していないとなかなか作れないものです。ぜひ、日常の生活でも「この言葉はどう伝えれば外国人にも分かりやすいかな？」と考えていただければと思います。

### 1. 日 時

平成26年3月28日（金） 14:00～16:30

### 2. 会 場

埼玉県浦和合同庁舎 5階講堂

### 3. 参加者

12名（やさしい日本語2名、英語6名、中国語・スペイン語・韓国語・タイ語各1名）

### 4. 参加費用 無料

### 5. 内 容

- (1) 「災害時多言語情報センター」概要説明
- (2) 災害情報を、やさしい日本語及び多言語に翻訳する訓練
- (3) 地域国際化協会（CLAIR）が作成した多言語情報作成ツールの案内

### 6. アンケート

- 改めて日本語表現を読みとる難しさを感じました。緊急時には、少ない情報をたよりに作成しなくてはいけないので、さらに困難だと思う。より、わかりやすい表現が求められると感じた。
- 災害時の情報の提供は、やさしい日本語と伝える情報のポイントを押さえることが大事だと思いました。
- 限られた時間で作業できるようになるためには、日ごろからの心がけが大切だと思います。市の職員にも、ぜひ参加してほしいです。
- 今回の訓練は実践的かつ効果的な訓練でした。訓練教材は、災害発生時には即役に立つ内容でした。また、グループには優秀な方がおり、多くのことを学ぶことができました。



議論する参加者。張り出された他のグループの訳も参考にしています。